

進路指導だより

江戸川区立葛西第二中学校

進路学習部

令和6年7月19日発行 第4号

1学期が今日で終わります。あっという間ですね。生徒の皆さんは「反省」と聞くと、できなかったところや改善点を考えていませんか？「反省」という言葉を辞書で調べると、「自分の言動をかえりみて、それで良いか考えること。」と出てきます。何が言いたいかというと、1学期に自分が達成できたこと、過去と比べできるようになったことにも目を向けてほしいのです。例えば、前回の進路だよりでは、提出物の期限を守りなさいという話をしました。その意識が随分高まってきたように思います。期日に余裕をもって提出する生徒が増えました。学習面に関しても「やればできる！」を実感した生徒が多かったように思います。ひとまず、よく頑張りました。



◇あなたは受験生になれていますか？ *Benesseのチェックシートより*

いよいよ、受験生として勝負の夏休み。あなたはいくつチェック「✓」が入るでしょうか。

- 毎日決まった時間に起床・就寝している。
- スマホやゲームの時間が減った。
- 家庭学習のスタート時間は毎日決まっている。
- 志望校が決まっている。
- 学習計画を作り、実行できている。
- 授業の予習・復習を毎日している。
- 模試の日程を意識して学習している。
- 教科ごとの自分なりの学習方法が確立されている。
- 勉強について、クラスメイトとお互いに励まし合うことができている。
- 平日3時間、休日6時間以上の学習時間が確保できている。

チェックが入らない箇所は
夏休み中に意識を変えよう！



◇高校見学のすすめ *学校訪問時のチェックポイント*

すでにたくさんの生徒が高校見学へ行っている様子を耳にします。夏休みは、多くの学校で説明会が開かれるほか、授業や部活動の体験もあり、高校のことをより深く知ることができるチャンスです。一方で、「実際に行ってみてどうだった？」と聞くと、「なんとなく良かった。」といった、ぼんやりした答えしか返ってこない生徒も見受けられます。以下はほんの一例ではありますが、訪問時にどこを見ればよいか、参考にしてください。

コース・学習制度	文系・理系や、午前通学・午後通学のコース分け、習熟度別授業の実施状況なども確認しましょう。特に専門学科では、自分の学びたい内容やコースがあるか確認しましょう。
進学実績	単なる進学人数だけでなく、進学先や現役での進学率、大学等の推薦枠の有無も確認しましょう。大学附属校の場合は、内部進学の内容なども聞いておくとも良いです。
生徒の印象	文化祭や体育祭、授業見学のほか、通学路や最寄駅などの校外で、在校生の普段の様子を見ることが出来ます。自分がその高校で過ごす姿を想像してみましょう。あいさつや校内のポスターに注目してみるのも良いです。
部活動	加入率を確認しましょう。自分が希望するクラブの有無や、使用している施設、実績、活動日数もチェックしましょう。
学校施設	カフェテリア（学食）や購買の有無、ラウンジや中庭など、ちょっとした憩いの空間も見ておきましょう。校内美化が行き届いているか確認しておく、その学校の校風も見えてきます。
通学のしやすさ	電車等の混み具合や、通学定期代を確認しましょう。バスや自転車通学を考えている場合は、道の安全性もチェック。いずれも、中学校が休みの時、実際の通学時間帯に出かけられると良いです。
学費・費用	授業料のほか、制服や修学旅行費用、留学費用、後援会費などの諸費用も確認しましょう。私立高校の場合は、寄付金や施設使用料などがかかる学校もあります。
入試制度の変更点	募集する学科やコース、人数の変更、入試科目や配点など、選考方法に関する変更がある場合は要確認です。
入試内容	(私立)単願推薦・併願推薦などの種類、面接や適性検査などの選考方法、コースや学科別の推薦基準（出願基準）について確認しましょう。また、優遇がある場合の条件、加点項目についても確認しましょう。(都立)入試科目、面接や作文の有無、文化・スポーツ推薦における実技試験内容について確認しましょう。また、自作作成問題の学校は、その出題傾向も知っておく必要があります。

◇模試を活用しよう！

校外で模試を受験することには、たくさんのメリットがあります。



①本番同様の緊張感の中受験ができる

受験会場を選択できるときは、高校で受験してみましよう。私服で行ったり、友人と一緒に会場へ行ったりしては意味がありません。できるだけ本番と同様の環境の中、自分の最善が尽くせるよう調整していきましょう。経験を積み、慣れておくことで、本番でも緊張せず受験に望むことができます。

②自分の位置を正確に把握できる

本当のライバルは、葛西二中にはいません。同じ志望校を受ける、他の中学校にいます。「井の中の蛙、大海を知らず」という事態にならないように！

③自分の実力（得意・不得意）を知ることができる

苦手科目・分野の発見ができます。わかったつもりになっていた問題や、他の生徒が正解している（正答率が高い）のに、自分が間違えた問題は特に注意です。

● 受けて終わりなんてもったいない！ 個票が返却されてからが本番 ●

模試の結果が返されたあと、そのまま終わりにしていませんか？ 先日学校で行った実力テスト、まだ結果は返却していませんが、模範解答は配布しました。わからなかった問題は確認しましたか？

模試は、入試問題の傾向を研究して出題されています。また、その解答解説はとても詳しく記載されており、学習を進めるうえでとても参考になります。模試を受けることよりも、受けたあとの学習に興味があると言っても過言ではありません。

①翌日までに解答解説を見ながら解き直しをする

そのためには、試験中に自分の答えを問題用紙に写しておく必要があります。記憶の新しいうちに解きなおし、個票が返却されたらもう一度復習しましょう。

②解き直し専用のノートを作る

自分の弱点がまとまったオリジナル問題集ができます。入試直前、最後の確認として見ることもできるでしょう。また、不安になったとき、ノートの存在自体が、努力してきた証として勇気付けてくれます。（わたし(堀田)の実際に使っていた解き直しノートがあります。どんなものかよくわからない…という人は見において。）



③実力に応じた適切な志望校を教えてくれる

チャレンジ校・実力相応校・併願校といったモデルケースを個票で教えてくれます。それを参考に高校を探していくのも良いでしょう。

Yes, I can! ~ 夢を語ろう ~

「継続のコツをよく聞かれますが、モチベーションが上がらない日もただやる。質は気にしない。それでいい。365日、完璧な気持ちを強く保てる人間なんていないですから。」

本田圭佑（サッカー選手）